

横浜市内の乳がん診療に実績のある病院を指定する  
「横浜市乳がん連携病院」に**けいゆう病院**が仲間入り！



6病院になりました！

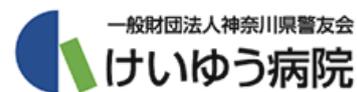
日本では女性の約9人に1人は、一生のうちに乳がんと診断されると推計されています。特に1年間にがんと診断された20歳から59歳までの女性の約40%の方が乳がんになり患していることから、身近な医療機関で治療を受けられるよう、乳がん診療体制の充実が求められています。

横浜市では、多職種でのチーム医療による乳がん診療の充実や患者支援に取り組む病院を、平成29年度から「横浜市乳がん連携病院」に指定しています。

このたび、乳がん連携病院にけいゆう病院（西区）を追加しました。

横浜市乳がん連携病院（令和4年6月1日時点）

病 院 名
横浜市立大学附属病院
横浜市立大学附属市民総合医療センター
横浜労災病院
横浜市立みなと赤十字病院
横浜市立市民病院
<b>けいゆう病院</b>



西区みなとみらい3-7-3

病院長 松本 秀年

<https://www.keiyu-hospital.com/>

## けいゆう病院の取組について

けいゆう病院のブレストチームは、患者さん中心の乳がん医療の実現に向けて、それぞれの専門的な知識・技術を有する医師・看護師・薬剤師・検査技師・放射線技師・理学療法士・事務員などで構成され、分野を超えて連携・協働しています。

☆定期的なカンファレンスを行い、治療方針をそれぞれの専門的視点で検討しています。

☆最新医療情報を提供すべく、勉強会や症例検討会を行っています。

☆患者さんが安心して治療が継続できるように、チーム内の連携・協働を大切にしています。

☆近隣の施設へ訪問し、顔の見える連携を目指しています。

☆定期的に市民講座を開催し、乳がんの早期発見に向けた啓発活動を行っています。



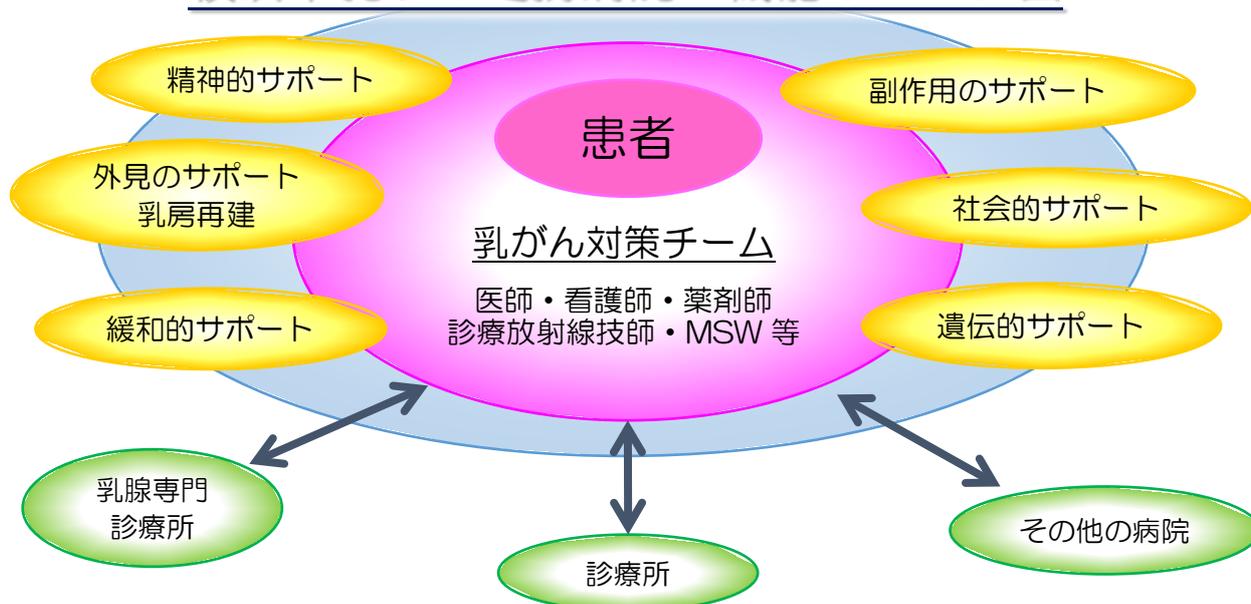
指定書交付式

## 横浜市乳がん連携病院とは

組織横断的な多職種連携による乳がん診療及び患者支援の取組を推進する地域がん診療連携拠点病院のうち、乳がん診療に実績のある病院を指定しています。院内の連携だけではなく、検診や精密検査、治療後のフォローを行う診療所との連携や、乳がん連携病院同士の連携が含まれます。

- ・乳がんは、家庭や職場において中心的な役割を担う世代でり患する方が多くなっています。乳がんの治療は長期間に及ぶことが多いことから、患者さんの生活の質を守るため、通院による体力的負担、時間的負担や交通費等の経済的負担を最小限にするため、市内で治療を受けることを選択できる環境を整える必要があります。
- ・就労に関する相談や副作用による外見（アピアランス）ケア、メンタルケアをしながらの治療が望まれるため、医師・看護師・薬剤師など様々な専門職が連携し、チーム医療で患者さんの治療環境を整えていく必要があります。

### 横浜市乳がん連携病院の機能イメージ図



#### お問合せ先

医療局がん・疾病対策課長 古賀 美弥子 Tel 045-671-2957